

池袋駅コア整備方針 2024（案）の更新箇所

◇池袋駅コア整備方針 2024 素案パブリックコメント実施による更新箇所一覧

番号	該当箇所	更新内容	パブコメ意見
1	はじめに 5～6 行目	池袋駅は 1 日 200 万人を超える駅利用者を抱え、そのうち 3/4 が乗換利用者であり、鉄道網の結節点となる役割を担う一方で、 駅利用者に対してのまちへの来訪機会を逃している側面もある。	資料 2-2 : No.2 (P1)
2	P4 課題④	・複数管理者間の災害時における避難誘導や 帰宅困難者支援 などの危機管理体制が整っていない。	※都市計画審議会での指摘事項
3	P4 課題④ 写真キャプション	左「 東日本大震災による池袋駅構内の様子 」 右「 東日本大震災による公衆電話の列 」	※都市計画審議会での指摘事項
4	P12 <池袋駅コアエリアのアート・カルチャー・ハブ/スポット整備イメージ>	北・中央・南の 3 本の地下通路（矢印）と、 ウイロード・びっくりガード（文字のみ）を追記	資料 2-2 : No.16 (P4)
5	P14 取組 2 (3)	「大田楽いけぶくろ絵巻」の写真を削除	※文化商工部からの指摘事項
6	P17 ②滞留空間の整備	・駅前交通施設の集約によるアゼリア通り（駅前～西口五差路交差点）の広場化や、みずき通りの歩行者空間化、 西口五差路交差点の十字交差点化による歩行者空間の拡充などにより、駅前にウォークブルな空間の拡大を図る。 ※みずき通りについては、…（以下略）。 ・ ウォークブルな空間が拡大する駅前の周辺建物等において、まちの魅力向上や賑わいの創出を目的として情報発信・誘導機能の充実を図る場合は、良好な景観形成に寄与する計画とする。	資料 2-2 : No.25 (P6)
7	P17 ②滞留空間の整備	・駅前広場に集まる多くの来街者を受け止める滞留空間や、 移動制約者を含めた誰もが移動しやすい環境を整備するため、駅前の広場空間を拡充する。	資料 2-2 : No.27 (P7)
8	P19 取組 4 (2)	・移動制約者への配慮を目的として、エレベーターの整備や段差解消によるバリアフリー化を図り、 動線も確保した上で、誰もが利用しやすい駐車場を駅至近に整備する。	資料 2-2 : No.27 (P7)
9	P19 取組 4 (2)	・ 様々な配送・物流ニーズに対応するべく、運用ルールなども含め、荷さばき利用者の利便性に配慮した共同荷さばき機能の導入により、周辺エリアにおける路上荷さばきの解消を図る。	資料 2-2 : No.31 (P9)